

令和6年度 静岡県立新居高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

- 1 開催日時 令和6年11月5日(火) 13:30~15:30
- 2 会場 会議室
- 3 出席者 学校運営協議会委員 片山 雅博、中島 登代子、井原 裕司
田代 瑠璃、鈴木 規之、石牧 秀一
学校職員 校長、副校長、教頭(全定)、事務長、書記(総務課 内村)
(伊藤生徒課長、福岡2年学年主任)

4 会議の概要

司会 小木副校長

校長挨拶

(1) 校内見学(音楽室、南館2階教室)

司会の交代 鈴木 規之様へ

(2) 協議

① 新居高校の制服の着こなしについて。今後の制服について。

・始めに伊藤生徒課長より今の新高生に着こなし、指導方針、制服変更についての進捗状況等の話がされた。

・協議会委員の方からは概ね、今の指導方法で良いのではないかと意見が多かった。

・制服変更に関しては今後、多方面から多くの情報を集めていくことが確認された。

② 学校予算がない中で、どのような外国人支援の在り方が考えられるか。

・小木副校長より外国人支援の現状が説明された。

・予算が少ない中で、支援を行うのに会社の外国人担当の方や大学生、一般の外国語が話せる人の活用の話がでる。そして、市や県を動かす流れを作ることが示された。

・1年生の1学期での指導が大事で、外国人コミュニティーを作らせないことが自立心を育てることになる等の意見を頂く。

③ 地域連携の支援について。

・始めに2年学年主任福岡より探究活動における湖西市との取り組みの現状についての話がされた。

・体験をさせることの重要性の意見が多く出たが湖西市との連携があまりうまくいってない状況が報告された。ただ市の反応が少ないことはもっと自由に活動ができる可能性の意見も出る。

・コーディネートについて、何をやりたいのか、誰を紹介していいのかわからない等の意見と市役所でのコーディネート機能の不十分さが話題となった。また、学校内にハブ的な機能をもつ人がいるのが本当は望ましい話が出されが小規模校では教員の負担が大きいの意見も出る。

司会(鈴木)の言葉で15:22 終了する。

司会(小木)が交代し、第3回の学校運営協議会の開催日程について話があり15:23に終了する。